

**内容別・観点別の分析** (様式2)

	内容別結果分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業全体では意欲的に取り組む様子が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能に関しては基礎技能の定着が必要がある。</li> <li>・個人の課題を具体的に示す必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の定着が必要である。</li> <li>・思考、判断力の育成を図る。</li> <li>・グループ活動の充実をさせる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バレーボールは基礎技能から応用技能の習得が課題である。</li> <li>・器械運動は各自が能力に応じて積極的に取り組んでいる。</li> <li>・陸上では好記録もあり全体的に意欲が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種運動の技能について基礎技能の定着を充実させる必要がある。</li> <li>・個人の課題を具体的にし、資料を活用させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の応用力を育成する。</li> <li>・知識の定着と理解力を育成する。</li> <li>・グループ活動による課題学習を行う。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技のハードル、走り幅跳びでは意欲もあり記録の向上も見られた。</li> <li>・バレーボールでは個人技能、集団技能とも向上し楽しめる種目になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種運動の技能について基礎技能の定着がみられるが、個々の課題設定に課題がある、個人の課題を具体的に示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考、判断力の育成を図る。</li> </ul>

**指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画 (様式3)**

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な事項の習得、育成が必要</li> <li>・基礎的な体力（主に持久力、走力）を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味、関心が持てるようにできることから、難しいことへの段階的指導。</li> <li>・体力を含めた、個人目標を設定させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループや相互練習などを組み、個人技能、体力の充実を図る。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の課題分析力と設定能力を伸ばす。</li> <li>・知識、理解力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート、プリントなどを通じて、理解力や知識を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人に対して課題を与えながら、主体的に学習できるようにする。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動が苦手だったり、嫌いな生徒に対する細やかな指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技指導において、細かくアドバイスしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が課題を持って、考えながら取り組み、実践できるようにする。</li> </ul>